競技注意事項

1 競技規則

1. 2022年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会競技注意事項によって実施する。
2. その他詳細事項は、本大会実施要項にも明記してあります。

**・本大会は、公認大会となります。**

3 選手招集時刻について

1. 各競技種目の招集時刻と招集完了時刻は、次の通りとする。

※各種目の開始時間より下記の招集時刻を厳守すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項目 | 招集開始時刻 | 招集完了時刻 |
| トラック | 45分前 | 30分前 |
| フィールド | 45分前 | 30分前 |

1. 出場種目を棄権する場合は、招集完了時刻までに招集所に届け出ること。

2 練習場・練習について

(1) 練習場は、指定場所又はバックストレッチのスペースを利用し、

　　 走方向は左周り（逆走は禁止）とし、衝突等安全に注意すること。

(2) 本競技場での逆走は禁止する。

(3) 本競技場での練習については，7時30分からトラック種目最初の開始時刻30分前まで認める。 状況によっては，練習時間等の変更を行う。役員の指示に従うこと。

(4) トラックにミニハードル等，私物の道具を置くことは禁止する。

(5) 練習等でトラックにテープ等を貼った場合，練習後には必ず回収すること。

3 招集について

(1) 招集所は，本競技場北側倉庫付近（北側幅跳ピット側付近）で行う。

(2) 招集時間は，競技順序に記載された時刻の招集完了時刻までに行う。

(3) 招集完了時刻に遅れた競技者は，当該種目を棄権したものとして出場を認めない。 (4) 招集の方法については，以下の通りとする。

①招集開始時刻に招集場所にて競技者本人が競技者係の点呼を受ける。

その際，アスリートビブス・競技用シューズのスパイクピン・ウェアや所持物の

商標の点検を受ける。

 ②トラック競技出場者は腰ナンバーカードを受け取る。（必ず右腰に付けること。）

　受け取った腰ナンバーカードは，競技終了後に返却すること

③携帯電話，ミュージックプレイヤー，および外部との通信機能のある腕時計等，競技規則TR6.3.2 に関わる電子機器を持ち込んではいけない。

④代理での点呼は認めない。

2種目同時に出場する競技者は，招集開始時刻前に事前に競技者係へ申告すること。

⑤各種目を棄権する場合は，招集開始時刻前に競技者係へ申告すること。

4 アスリートビブス（ゼッケンＮo）について

(1) 小学生のアスリートビブスは，主催者で用意し，大会受付時に配布する。

(2) アスリートビブスは、県内選手においては、鹿児島陸協登録時に配布されたものを

使用すること。

県外登録選手については、申込時に入力したナンバーが記載されたものを使用すること。

1. アスリートビブスを取り付ける安全ピンについては，各自で準備する。

5 競技場の入退場について

(1) 招集所から競技場への入場は，競技者係の指示に従い，決められたルートで移動すること。

(2) 競技終了後は，役員の指示に従い，場外へ退場する。（本部席前は通行禁止）

(3) 競技者・監督・コーチ以外（付き添い等）は，競技場内へは立ち入る事ができない。

6 番組編成について

(1) トラック競技については，プログラム記載の組・レーン順，フィールド競技の試技順については， プログラム記載の番号順とする。

7 競技について

1. トラック競技について

①本大会の各レースは、全てタイムレースとする。

②トラック競技の計時は，すべて写真判定装置で行う。

③レーンで行う競技は，欠場者のレーンを空ける。また安全対策の為，フィニッシュ

後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を通過する。

④スタートは、クラウチングスタートを原則とするが，スタンディングスタートも認

　める。スタートは、競技者としてあるまじき行為がある場合は、警告（イエローカ

ード）または除外（レッドカード）を通告されることがある。

同じ競技者が2回の不正スタートをしたとき，その競技者を失格とし，オープン参

加として走る。

⑤スタートのコールはイングリッシュコールで行う

（2）フィールド競技について

砲丸投は、同じマーカーを１個だけ使用できる。

使用したマーカーは競技終了後、役員の指示があった後、各自で片づけること。

(3)競技者は，携帯電話，ミュージックプレイヤー，および外部との通信機能のある腕時

計等，競技規 則TR6.3.2に関わる電子機器を所持・使用してはならない。

また，競技場所を勝手に離れることはできない。

9 競技用具について

(1) 競技に使用する用具については，すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

10 競技用靴について

(1) スパイクピンの長さは，9mm以内とする。

(2) 競技用靴の厚さについては，WAシューズ規定(TR5.5)を適用する。

　　　 ただし、フィールド競技用靴については、日本陸連の示す移行措置を適用し、

靴底厚確認のための計測は行わない。

また、本大会においては、砲丸投における規格外のアップシューズの使用を認める

こととする。

* + トラック種目

・８００ｍ未満の種目の靴の最大の厚さは、２０ｍｍ

・８００ｍ以上の種目の靴の最大の厚さは、２５ｍｍ

11 抗議について

結果発表アナウンス後，結果に対する抗議は，競技規則(TR8.2)に定められた時間内

（次ラウンドがある 場合は，15分以内，それ以外は30分以内）に競技者自身，

もしくはチームを公式に代表する指導者等から 総務(総務員)を通じて，審判長に口頭になされなくてはならない。その後の審判長からの裁定に納得ができない場合は，預託金(1万円)を添えて，総務(総務員)を通じてジュリーに「抗議申立書」で申し出る。

「抗議申立書」は総務が準備する。

12 表彰について

(1) 各種目、新記録にはメダル，賞状を授与する。

(2) やむを得ず表彰式を行わない場合は，賞状・メダルを正面入り口にて配布する。

1. 感染対策について

(1)一般財団法人鹿児島陸上競技協会が定める「新型コロナウイルス感染防止対策要領」

に沿う感染状況によっては、無観客などの変更になる場合もあります。

競技場２階とバックストレッチ側の芝内での応援等も、マスクを着用し、大声での

応援は避け、拍手のみでの応援を行う。密にならないように周りとの距離を保つよう

にしてください。（ソーシャルディスタンス）

※ただし、気候の状況等により、熱中症が発生する可能性が高いと判断した場合は、

大会本部からマスクを外す呼びかけを行うことがあります。

(2) 選手，監督，コーチ，チーム関係者等は，大会1週間前から「大会前・体調管理チェックシート」を記入し，チーム代表者に報告しておくこと。チーム代表者は記入内容を把握し，状況に応じて「大会前・体調管理チェックシート」の提出ができるようにしておくこと。

(3) 大会終了後2週間は「大会後・体調管理チェックシート」を記入し，発熱や体調不良等の症状が見られた場合は，薩摩川内市陸上競技協会 理事長：坂上

(090-1974-5034)まで必ず報告を行う。

14 その他注意事項

(1) 競技場の入場は、7:30とする。係の指示に従い入場すること。

(2) 競技役員会議は、当日8:00からメインスタンド下（本部席前）で最終打合せを行う。

(3) 大会プログラムは競技場正面入り口内にて，1部200円で販売する。

(4) 競技会の結果については，競技場正面入り口付近に掲示する。

なお大会終了、一週間後に薩摩川内市体育協会HPでも公開する。

(5) 競技場内に持ち込む衣類・バック等については広告規定を適用する。

(6) 更衣室の利用については，更衣のみとし，控え場所としての使用は認めない。

また貴重品等の管理 については，各自で責任をもって行う事。

(7) 事故発生については，応急処置を・医務員が行うが，他の一切の責任は負わない。各自 スポーツ安全保険に加入しておくこと。

(8) 競技場２階へのテント設置はできない。バックストレッチ側の芝内は許可する

(9) 競技場２階の座席に物等を置いたりしての場所取り行為を禁止する。

(10) 各自が出したゴミは必ず持ち帰ること。

15 個人情報の取り扱いについて

①大会プログラムに掲載する。

②記録掲示板，ホームページに掲載する。

③競技場内アナウンスに使用する。

④競技結果等，報道機関，関係各所に提供する。

⑤優勝記録や大会記録等，次年度以降もプログラム等に掲載する。

⑥各報道機関・メディアに写真や映像が公開されることがある。